

意見陳述

2022年6月8日

原告 ラトナヤケ・リヤナゲ・ワヨミ・ニサンサラ・ラトナヤケ

1. 私の名前は、ラトナヤケ・リヤナゲ・ワヨミ・ニサンサラ・ラトナヤケです。ウィシュマ・サンダマリのすぐ下の妹です。
2. 姉と母と、亡き父のために、私は、先月、再び日本に戻ってきました。
3. 昨年、姉が日本で亡くなったと知らされたときには、信じられなかった。母も妹のポールニマも、これは何かの間違いだろうと言いました。若く健康な姉が簡単に亡くなるはずがないと私たちは思ったのです。
4. 私はとても悩みましたが、仕事を辞めて、昨年の5月に、ポールニマと日本にやってきました。どうしても、姉の遺体を確認しなければならないと思ったからです。
5. 姉の遺体と対面したときの気持ちは、つらすぎて、とてもお話できません。遺体は、姉に似ていましたが、やつれきって、別人のようでした。私たちは、その遺体を姉だと認めたくなかった。姉が、どれほど苦しんだかと思うと、遺体をまっすぐに見ることもできませんでした。
6. 本当は、母も、姉の遺体と会いたかったし、今日この場にも来たかった

のです。けれども、彼女は、姉の死を聞かされてから体調を崩しました。私は、母のことも、とても心配です。けれども、母の心を日本の皆様にお知らせするためにも、ここにいます。母は、いまも、毎日、姉のことを想って泣いています。姉が亡くなってから、私たちは、姉の大きな写真を家に飾りましたが、母は、それを裏返してしまいました。写真を見るのさえ、とてもつらかったからです。「ウィシュマは死んでいない」と母はずっと言っていました。いまは、「ウィシュマを返して」と言っています。母も、祖母もそう言っています。まさか、ウィシュマが自分たちより先に亡くなるなんて。。。母も祖母も、そんなことは、絶対に認めたくないのです。

7. 母にとって、姉は頼りになる長女でした。父が早く亡くなりましたので、母は、私たちの世話を姉に任せて、外で働きました。母と姉は、「戦友」のようなものでした。私とポールニマが大人になって、姉が「留学したい」と言い始めたとき、母は最初、反対しました。大切な娘を外国に行かせるのが心配でしたし、留学には、お金もとてもかかったからです。けれども、母は、姉の熱意に負けました。それに、ずっと私とポールニマの世話をしてくれた姉に、本当に好きなことをさせてやりたかった。姉が日本で夢をかなえることが、私たち家族にとっても、夢になりました。母は、「日本なら、安全な国だから大丈夫だね」と言いました。私たちは、自宅を担保にお金を借りて、

姉の学費を作り、姉を日本に送り出しました。覚えています。2017年6月、母と私とポールニマと、皆で、KATUNAYAKA の空港まで送りに行きました。寂しかったけど、姉の太陽のような笑顔を見ているうちに、私も、いつか、姉を訪ねて日本に行ってみたいと思いました。そのころには、きっと、姉は、日本で勉強を終えて、日本でも学校の先生になっているのだろう、日本の子どもたちに英語を教えているのだろうと思いました。あの頃、未来は明るかったのです。

8. けれども、あの日が、生きた姉を見た、最後になりました。
9. いえ、違います。私とポールニマは、2021年8月に、法務省の建物の中で、姉がとても苦しんでいる映像を見ました。2時間見る予定でしたが、ショックで途中吐いてしまって、その日、最後まで見られませんでした。あんなに残酷な状況で私の姉は死んでしまった。姉はずっと助けをもとめていたのに。点滴も、病院も、求めていたのに。姉は死にたくなかったのに。私は、あのビデオを見てから、夜、眠れなくなりました。やっと眠っても、悪い夢ばかり見るようになりました。起きているときも、狭い場所に入ると、ウィシュマも、こんな狭いところで閉じ込められていたのだろうかと思いました。「担当さん～」 「担当さん～」と、入管の職員に助けを求めている姉の声が、いつも聞こえてきました。私は、耐えきれず、9月にスリランカに帰

らざるを得ませんでした。

10. でも、私は、いま、日本に戻ってきました。裁判官と市民の皆さんに、どうしても、お話したいことがあったからです。裁判官と、全ての日本市民は、少しでも早く、姉のビデオを見てください。日本という国で、人間がどのように扱われて死んでしまったのか、見てほしいのです。すべての外国人とすべての日本人のために、出入国管理局には変わってほしい。
11. 日本政府は、姉のことで謝ってほしい。そして、責任を認めて、必ず変わってほしい。特に日本の入管収容制度には、完全に変わってほしい。こんな悲しい思いをするのは、ウィシュマと私たち家族で最後にしてほしい。
12. 私は、裁判官を信じます。この訴訟で正しい判決が出て、日本が、人間を大切にする国に必ず変わってくれと、信じています。それが、母とポールニマと、ウィシュマの願いでもあります。

以上